

ケース 2 アクティビティ  
やって始まる話し合い



特性をつかまず  
役割を決めると  
話が進まない

ACTIVITY(アクティビティ)  
楽しみながら相互理解

例えばヘリウム スティック

3~8人のグループが課題に取り組む前、互いの特性を知る方法

軽い棒を用意。グループを二つに分けて、スティックを挟み向かい合って立つ。次に、両手の人差し指の上にスティックを置く。その状態で徐々にスティックを降ろし、最初に床まで降ろすことができたグループが勝ち。全員の人差し指がスティックに触れていることがポイントで、誰かの指がスティックから離れたら最初の高さからやり直す。



あら不思議。最初のうちは降ろそうとしても棒は浮いてしまう。グループ内でのルール化、コミュニケーション、声かけ、目配せ、などが必要。その過程で個々の特性をお互いを知ることができる。

ACTIVITY  
でも やってみるか!!

チェンジ!!

楽しい雰囲気  
で話が  
動き出した

グッド  
ジョブ!!

